

## シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE31013	
科目名	病理組織学実習	
科目名 (英語)	Histopathology Practice	
授業形態	実習	
標準履修年次	2年次	
実施学期・曜時限等	秋 ABC 火 3-5 限	
使用教室	4B113	
単位数	2 単位	
担当教員名	長田道夫、川西邦夫、沖田結花里、村田佳彦	
備考	実務経験教員：長田道夫、川西邦夫、村田佳彦	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	技術指導員 福中康子、菊川浩子(組織標本作製室) 技術支援 乾左徒子	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めない。事前にアポイントをすること	
学位プログラム・コンピテンス との関係	汎用	広い視野と国際性
	医療	臨床検査の知識と実践力
	国際	臨床検査の知識と技術
授業の到達目標 (学修成果)	<p>実習を通して、臨床検査技師国家試験への基礎知識も養う。本授業は以下のことを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病理検査の実際と検査技師の役割を理解できる。</li> <li>2. 病理組織標本作製の手順とその理論背景を知り、標本作製できる。</li> <li>3. 各染色の利点と病理診断へ意義について説明できる。</li> <li>4. 免疫染色、電子顕微鏡の技術と理論背景を説明できる。</li> </ol> <p>細胞診の基礎とスクリーニングの実際、重要疾患の所見を説明できる。</p>	
他の授業科目との関連	病理組織学、細胞検査学との関連が深い	
履修条件	1 学年の単位を修得済みの者	
授業概要	<p>実習は講義と実習を組み合わせる。グループ学習の形態をとる。</p> <p><b>実習講義</b>：病理解剖の介助と各臓器の肉眼的観察方法などについて解説する。また、組織標本、細胞診などの検体材料の取り扱い方法、固定、包埋、薄切、染色方法、さらに適正な標本とはどのようなものであるのかについての基本的原理の理解を促す。病理診断に必要な、特殊染色、免疫組織化学、In situ, FISH、電子顕微鏡について、その理論と手法について解説する。</p> <p><b>実技</b>：実際の臓器を対象として切り出し、肉眼像の把握、ブロックの作製、薄切、各種染色の技能を養う。染色標本のスケッチを行う。グループごとに染色実験を行い結果を発表する。細胞診の代表的な固定法や染色法を実習し、典型例の観察とスケッチを通して、細胞診の診断を体験する。</p>	
キーワード	固定、薄切、染色、鏡検、細胞診、診断	

<p>授業計画</p>	<p>1) 長田道夫-病理診断医として実務経験がある。 川西邦夫-病理診断医として実務経験がある。 村田佳彦-細胞検査士として実務経験がある。</p> <p>2) 講義と実習を結び付けて、技術のについてその学理的側面を学ぶ。 <b>実習講義</b>：病理解剖の介助と各臓器の肉眼的観察方法などについて解説する。また、組織標本、細胞診などの検体材料の取り扱い方法、固定、包埋、薄切、染色方法、さらに適正な標本とはどのようなものであるのかについての基本的原理の理解を促す。病理診断に必要な、特殊染色、免疫組織化学、In situ, FISH、電子顕微鏡について、その理論と手法について解説する。</p> <p><b>実技</b>：実際の臓器を対象として、切り出し、肉眼像の把握、ブロックの作製、薄切、各種染色の技能を養う。染色標本のスケッチを行う。グループごとに染色の実験を行い、結果を発表する。細胞診の代表的な固定法や染色法を実習し、典型例の標本の観察とスケッチを通して、細胞診の診断を体験する。</p>
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>実習は時間内に終わる。 実験のまとめやプレゼンはグループ単位で実習以外の時間に行う。</p>
<p>単位取得要件</p>	<p>原則的に全時間出席し、その都度課された提出物などの評価。</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>実習の出席、実習中の態度、実験のプレゼン、期末試験の点数に基づいて評語（A+～C）で評価する。</p>
<p>教材・参考文献・配付資料等</p>	<p>基礎病理技術学（病理技術研究会） 細胞診を学ぶ人のために（医学書院） 実習テキスト（実習前に配布）</p>
<p>その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）</p>	<p>いろいろな病理技術の目的と原理を理解し、実技としての基本を厳守しながら技術的な工夫をする。作製した標本を観察し結果を正しく評価する。現在学んでいる技術がどのように医療現場で役立つかについて理解する。実習中には待ち時間が生じることもあるので、時間の活用を十分に考える。実習に際しては、教科書や参考書を持参する。実習室では白衣を着用。</p>